

# 平成28年度 協会けんぽ神奈川支部加入者 (横浜市在住) 生活習慣病予防健診データ分析報告書

横浜市在住の協会けんぽ神奈川支部加入の被保険者で、平成28年度に生活習慣病予防健診を受診した約9万2千人を対象に、健診結果の分析を行いました。

## 《 分析全体の概要 》

### 1 分析項目

- (1) 問診項目
- (2) 検査項目

### 2 分析結果

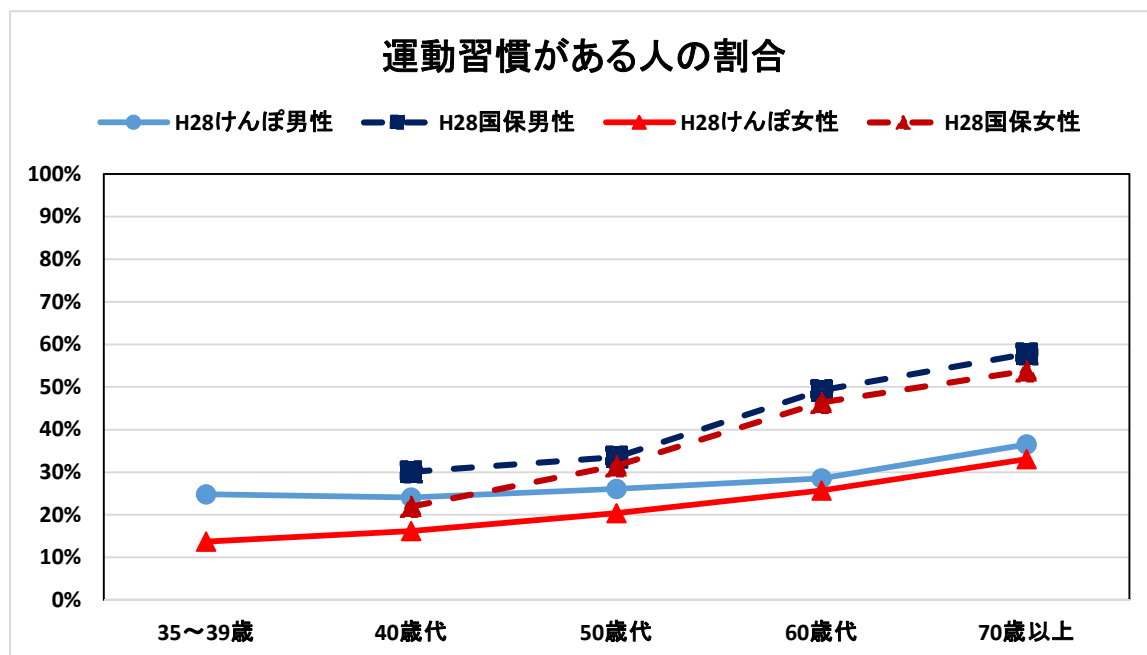
※多くの問診、検査項目のグラフで参考として、横浜市国民健康保険における特定健診の結果を掲載していますが、横浜市国民健康保険の特定健診受診者と協会けんぽの生活習慣病予防健診受診者では受診率など属性が異なるため、比較には注意する必要があります。

#### (1) 問診項目

飲酒、喫煙、運動などの生活習慣や服薬、罹患歴などの問診項目では、多くの項目で性別や年代によって違いが見られました。

例えば、

- 「運動習慣のある人」の割合は、男性は35～39歳から40歳代で微減した後、その後年齢が上がるにつれ増加していました。女性は、年齢が上がるにつれて増加していました。

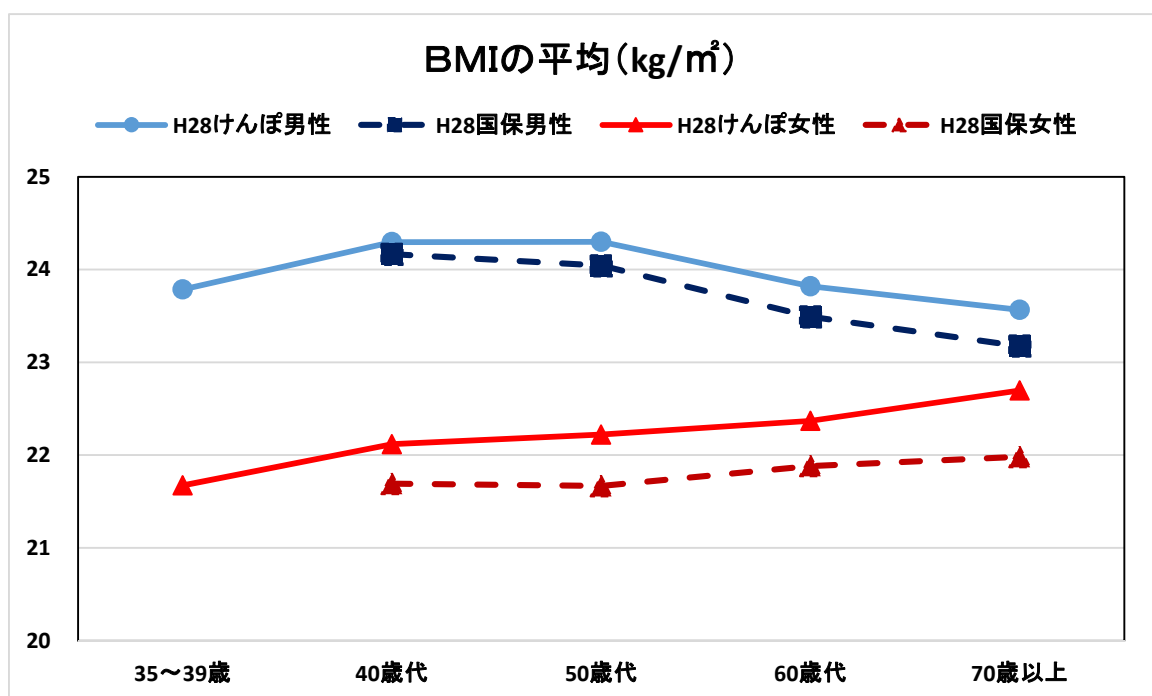


- 「喫煙習慣がある人」の割合は、男性は年代が上がるにつれ減少していましたが、女性は、40歳代が最も多く、その後年齢が上がるにつれ減少してました。
- 「朝食を抜くことが週3回以上ある人」の割合は、男女とも年齢が上がるにつれ減少してました。

## (2) 検査結果

血圧や血糖値などの多くの検査項目で性別や年代によって違いが見られました。

- 「BMI」では、男性は50歳代をピークに年代が上がるにつれて減少していましたが、女性は年代が上がるとともに徐々に増加してました。



- 「収縮期血圧」では、男女とも年代が上がるにつれ高くなっていました。
- 「総コレステロール」では、40歳代までは、男性の方が女性より高くなっていましたが、女性は50歳代に著しく増加し、50歳代以降は男性よりも高くなっていました。男性は年代による差はほとんど見られませんでした。
- 「HbA1c (NGSP 値)」は、男女とも年代があがるにつれて高くなっていました。

## はじめに

横浜市在住の協会けんぽ神奈川支部加入の被保険者で、平成28年度に生活習慣病予防健診を受診した約9万2千人のデータを分析しました。分析した項目は、問診項目と検査項目です。

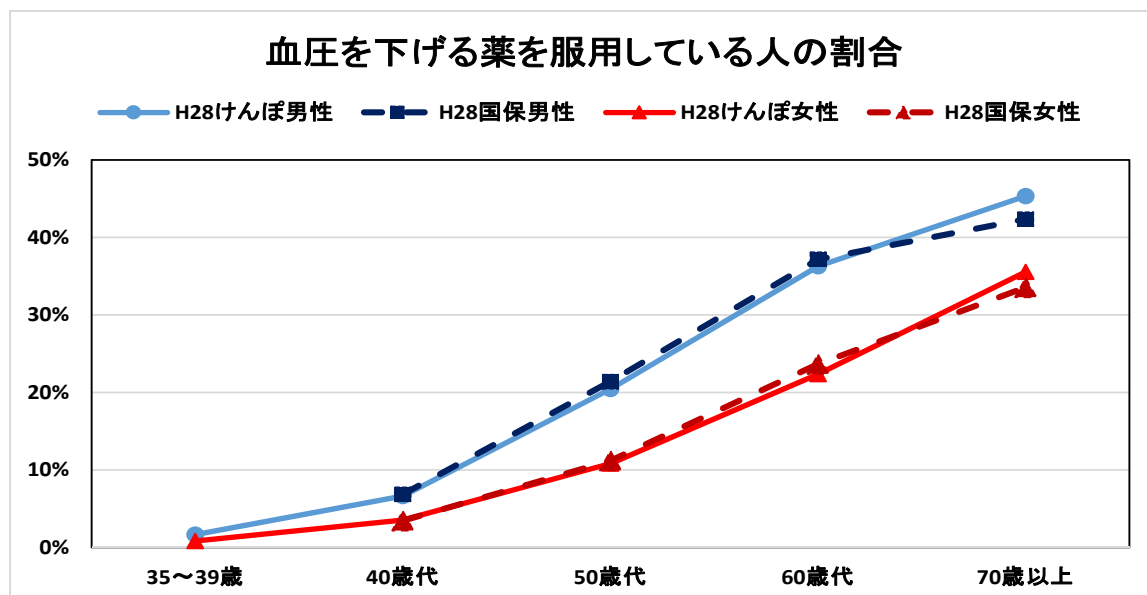
なお、分析結果では、参考として横浜市国民健康保険の平成28年度の特定健診結果をグラフ中に示しましたが、健診受診率が大きく異なる(協会けんぽ約40%超、国保は約20%)など、様々な要因が異なるため、比較には注意が必要です。

### 1. 問診項目の分析

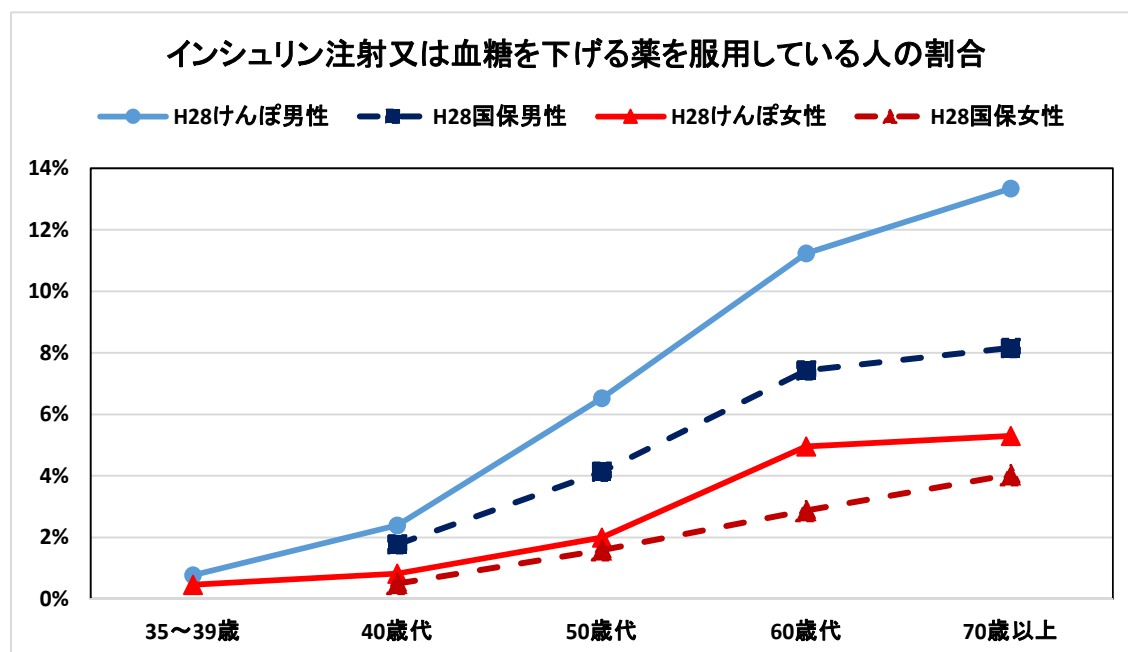
#### (1) 「服用している薬」について

「血圧を下げる薬を服用している人」、「インシュリン注射又は血糖を下げる薬を服用している人」、「コレステロールを下げる薬を服用している人」の割合は、概ね年齢が上がるほど増加していました。

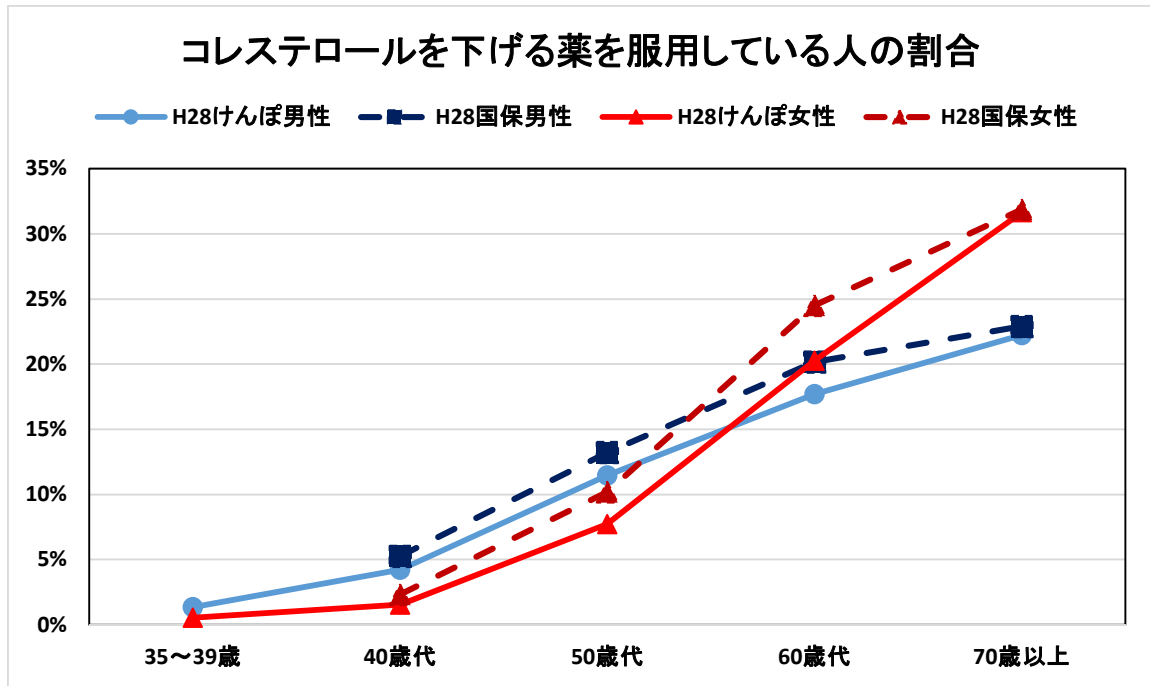
ア 「血圧を下げる薬を服用している人」の割合



イ 「インシュリン注射又は血糖を下げる薬を服用している人」の割合



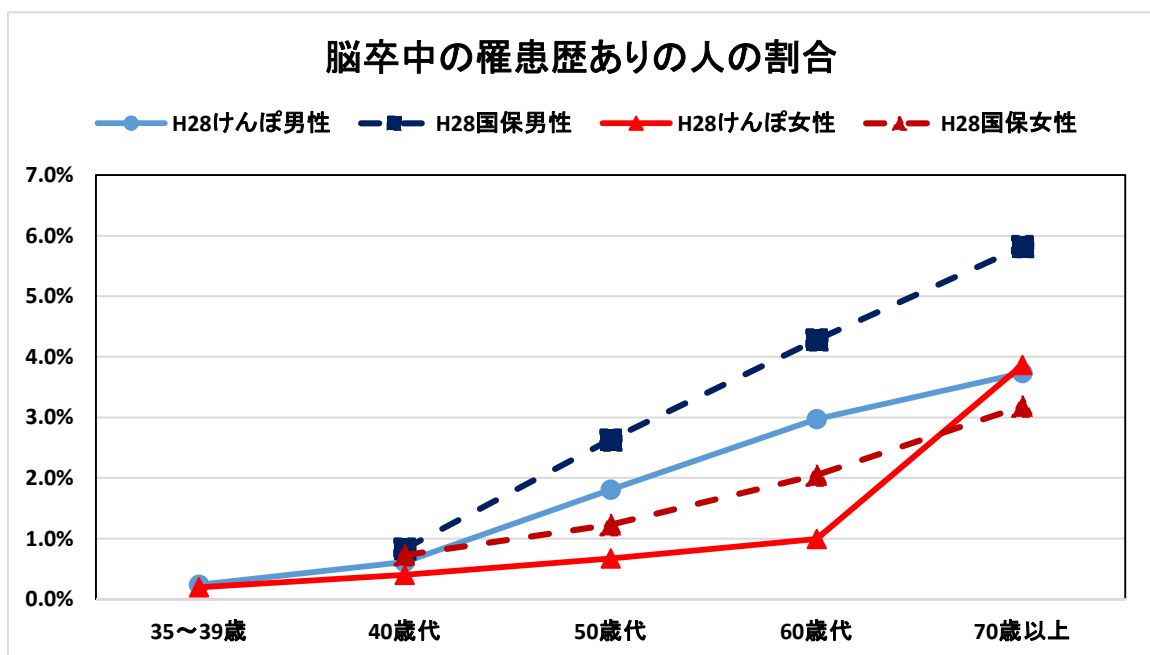
ウ 「コレステロールを下げる薬を服用している人」の割合



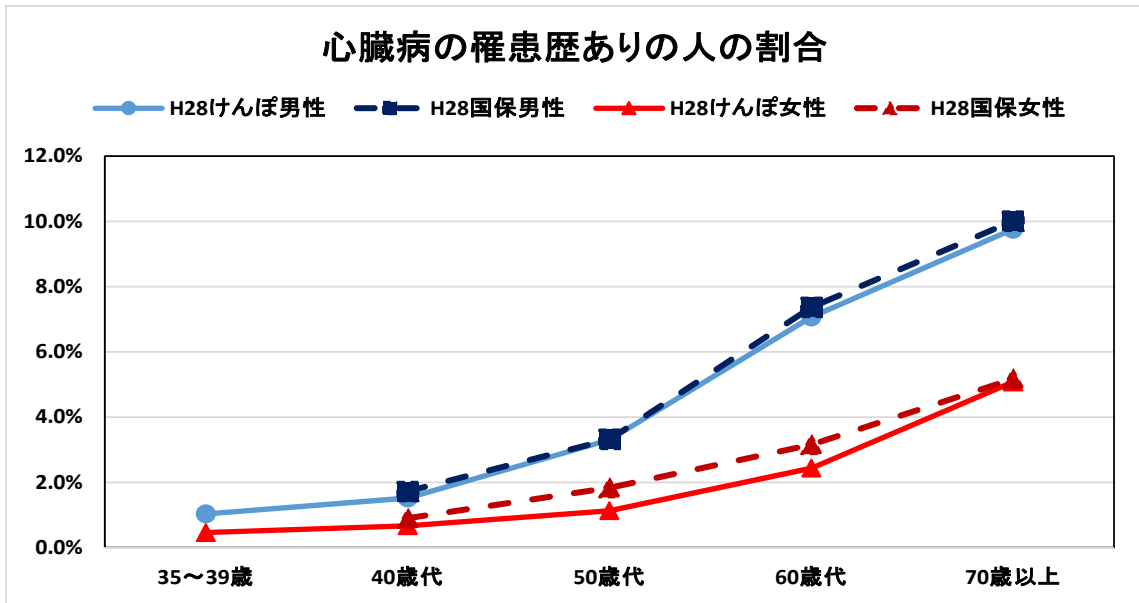
(2) 既往歴について

脳卒中(脳出血、脳梗塞等)、心臓病(狭心症、心筋梗塞等)、慢性腎不全又は人工透析経験ありの人の割合は、年齢が上がるにつれ男女とも増加する傾向でした。貧血ありの人の割合は、男性では漸増傾向、女性では 40 歳代をピークに年齢が上がるにつれ減少していました。

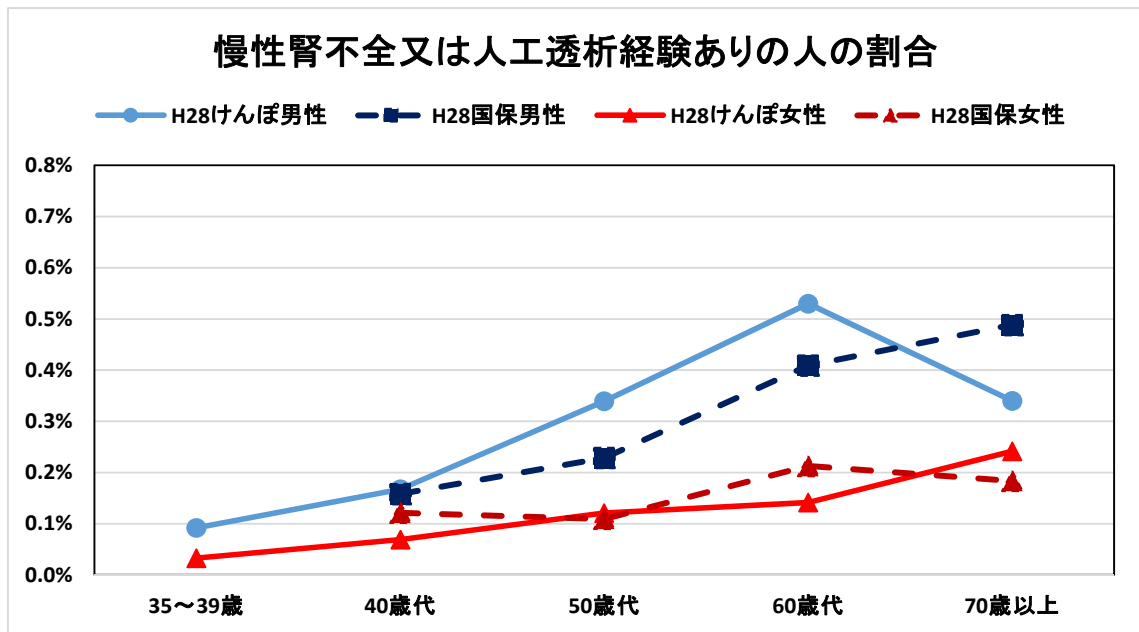
ア 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)の罹患歴



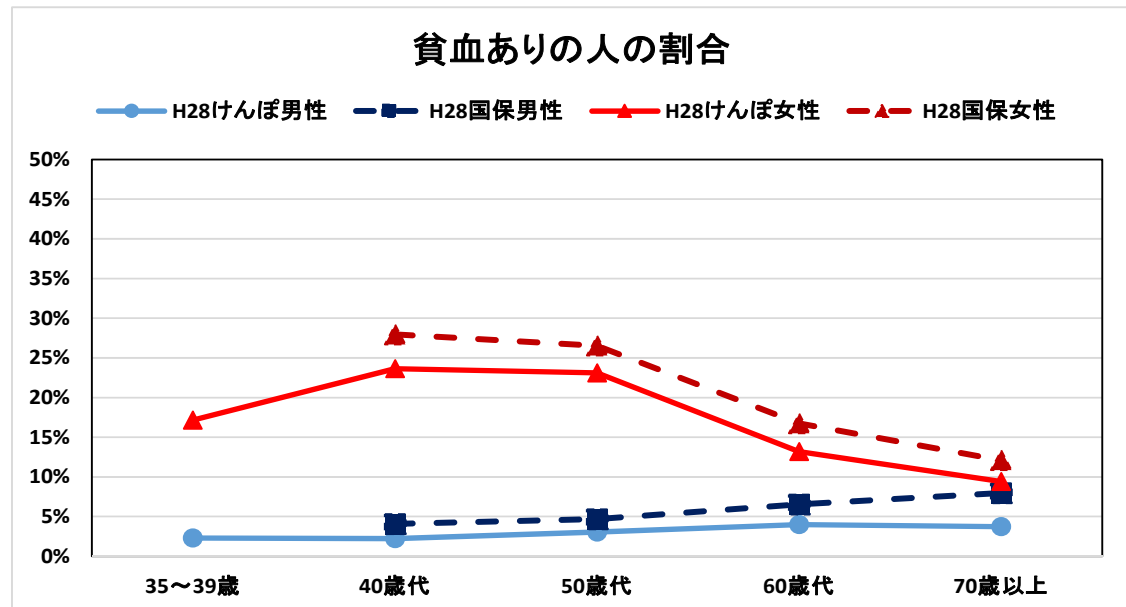
イ 心臓病(狭心症、心筋梗塞等)の罹患歴



ウ 慢性腎不全又は人工透析経験



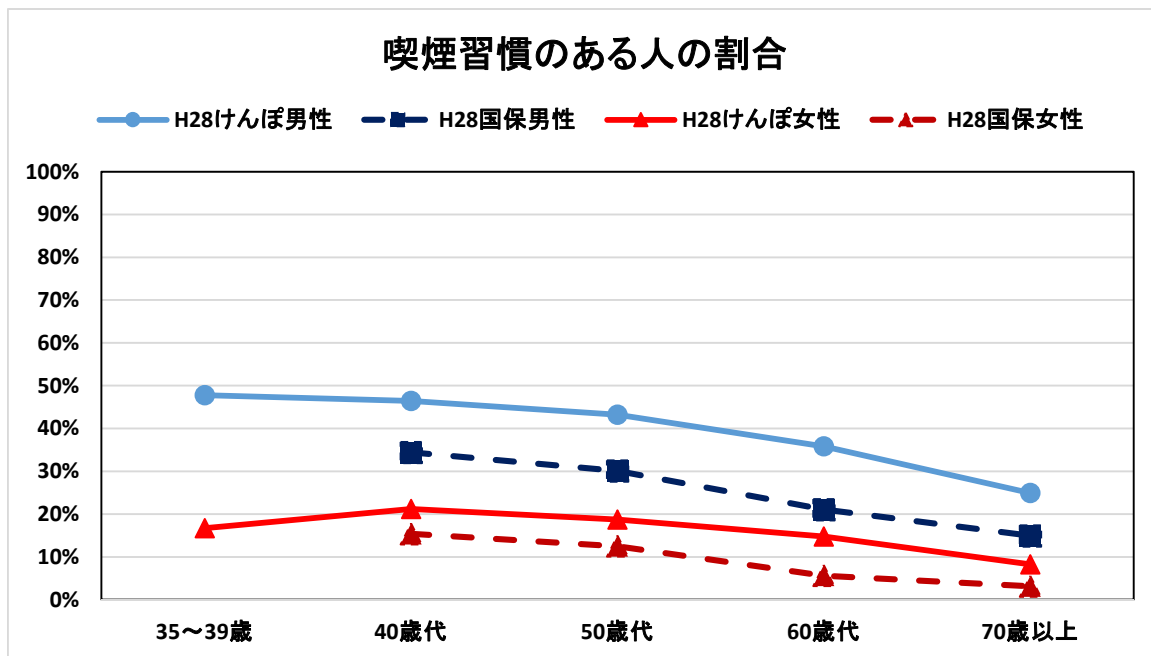
エ 貧血の有無



### (3) 生活習慣について

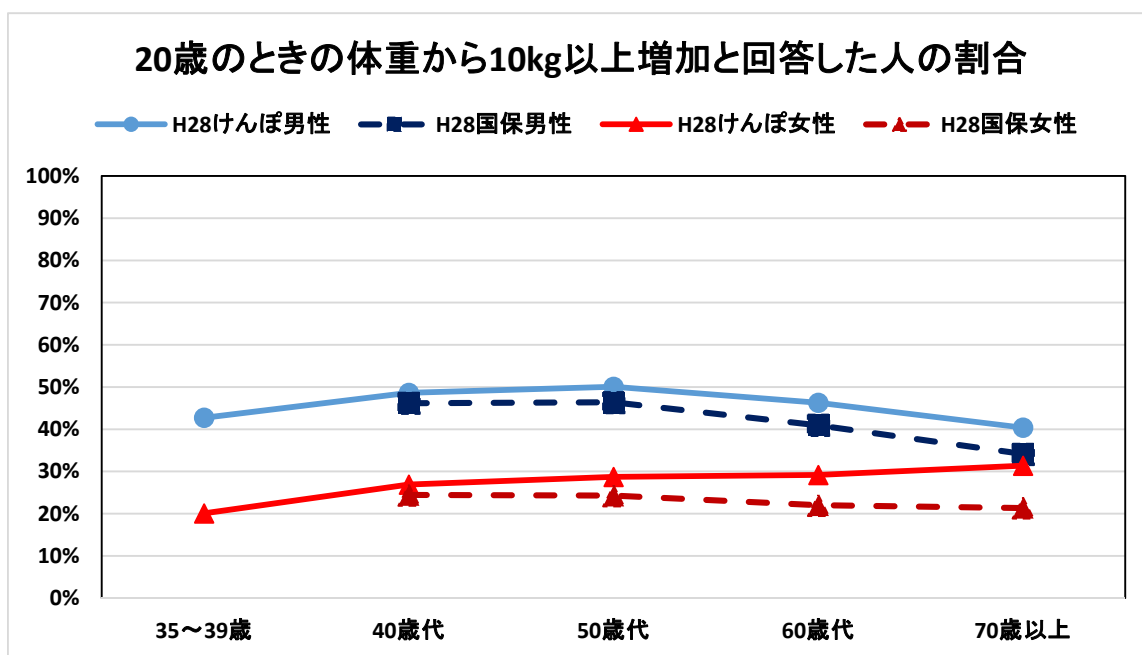
#### ア 喫煙習慣がある人

喫煙習慣がある人の割合は、男性では35～39歳が最も多く、その後年齢が上がるにつれ減少していました。女性では、40歳代が最も多く、その後年齢が上がるにつれ減少していました。

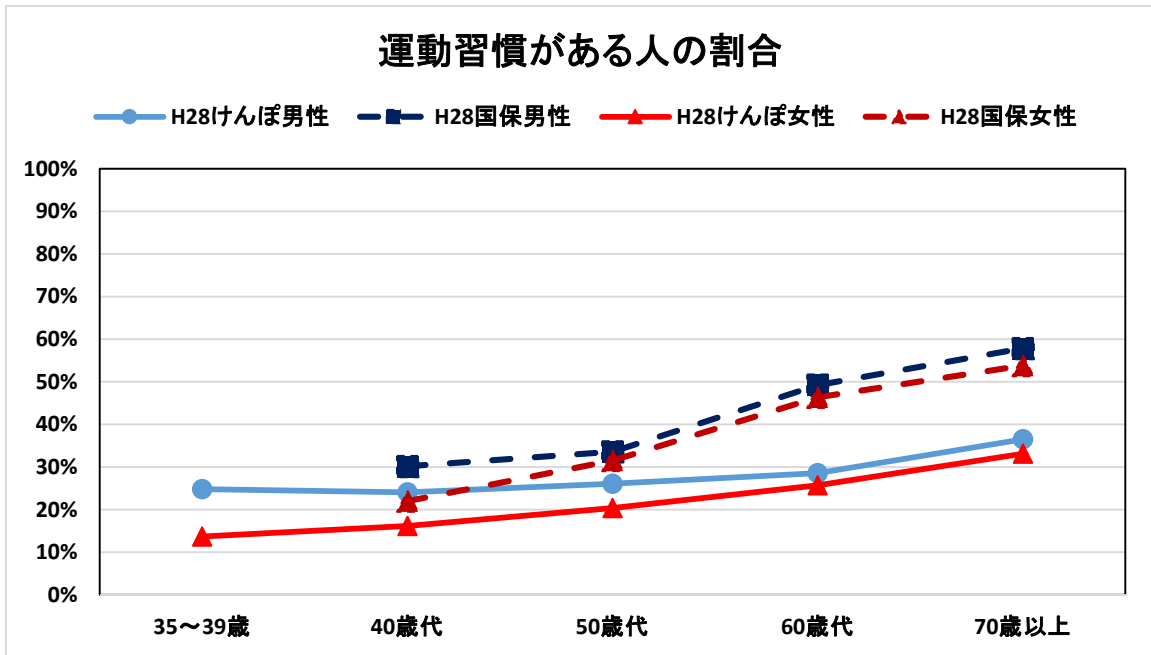


#### イ 20歳の時から10kg以上体重が増加した人

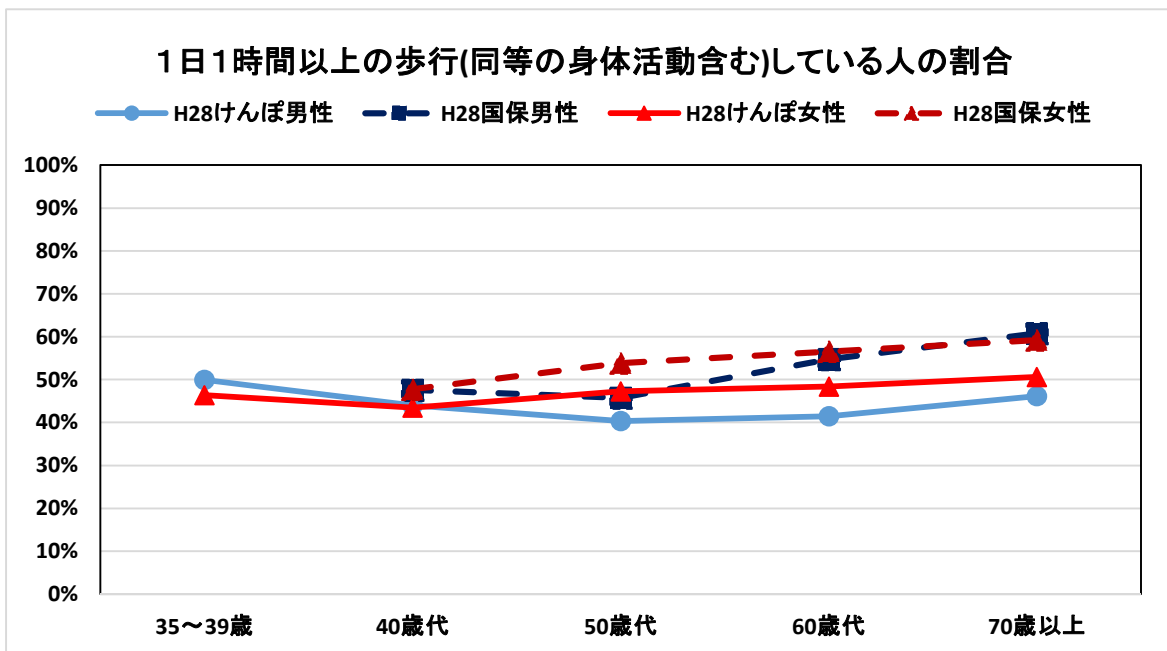
20歳の時から10kg以上体重が増加した人の割合は、男性では35～39歳から50歳代にかけて増加した後、年齢が上がるにつれ減少していました。女性では年齢が上がるにつれ徐々に増加していました。



ウ 運動習慣(1回 30 分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上している人)がある人  
 運動習慣のある人の割合は、男性では 35～39 歳から 40 歳代で微減した後、年齢が上がるにつれて増加していました。女性では年齢が上がるにつれて増加していました。

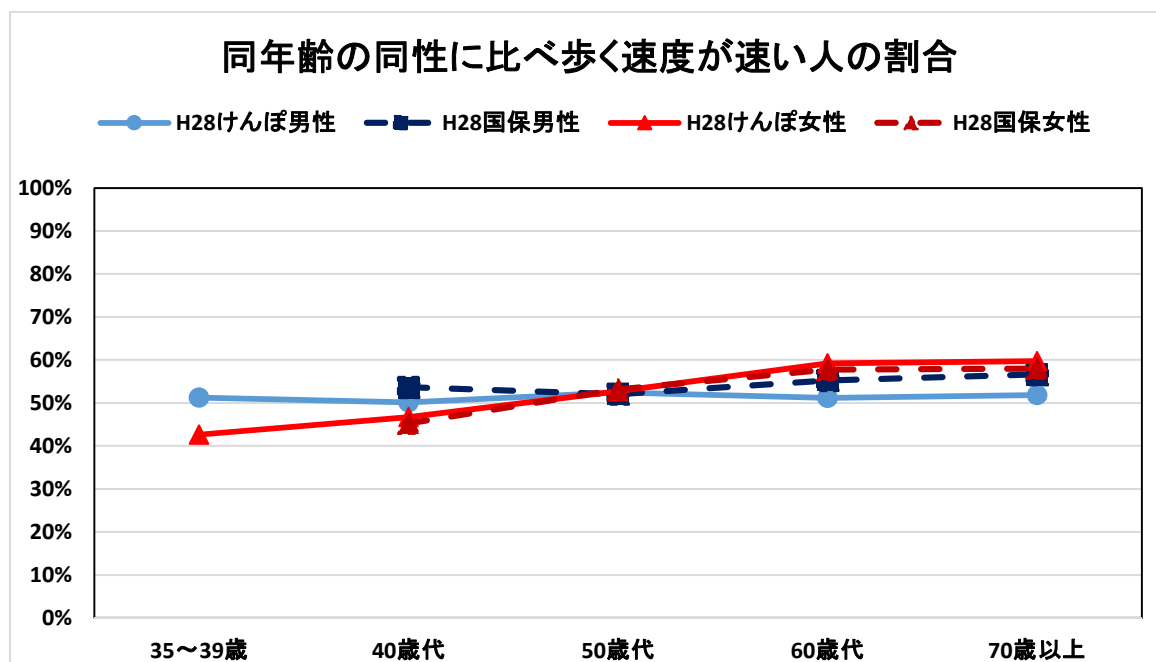


エ 日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上している人  
 歩行習慣のある人の割合は、男性では 30～39 歳から 50 歳代で低下した後、60 歳代、70 歳以上と微増していました。女性では 35～39 歳から 40 歳代で低下した後、年齢が上がるにつれて微増していました。



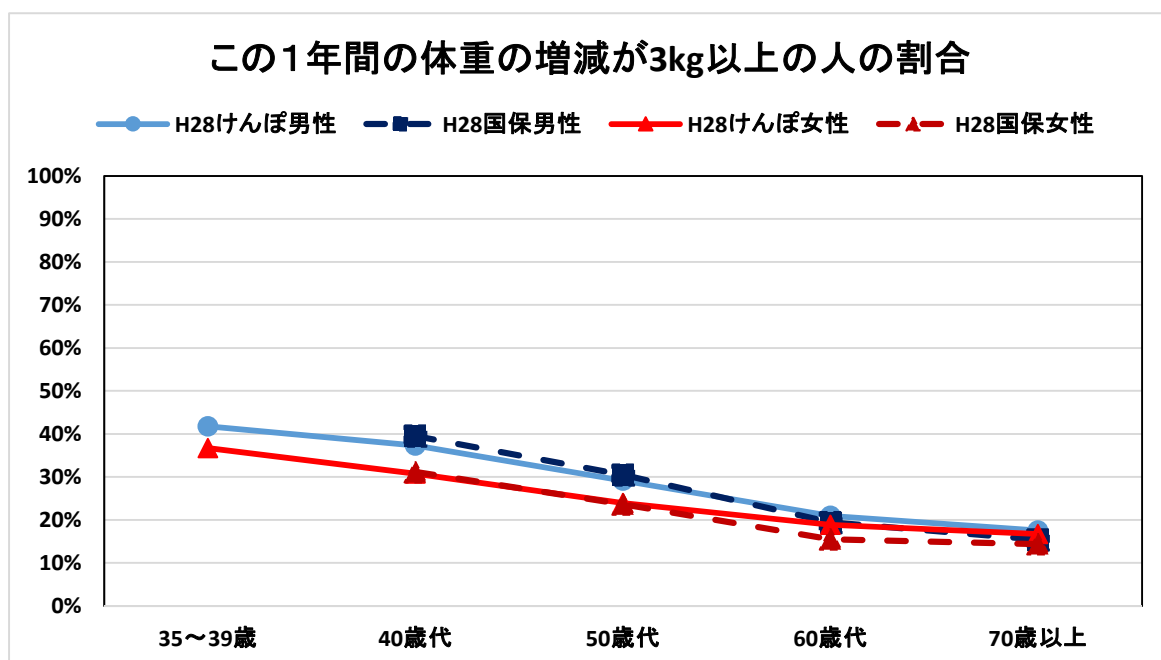
オ 同年齢の同性と比べて歩く速度が速い人

歩く速度が速い人の割合は、女性では年齢が上がるにつれ増加していましたが、男性では、どの年代も50%程度で、年代による変化はほとんど見られませんでした。



カ この1年間の体重の増減が3kg以上あった人

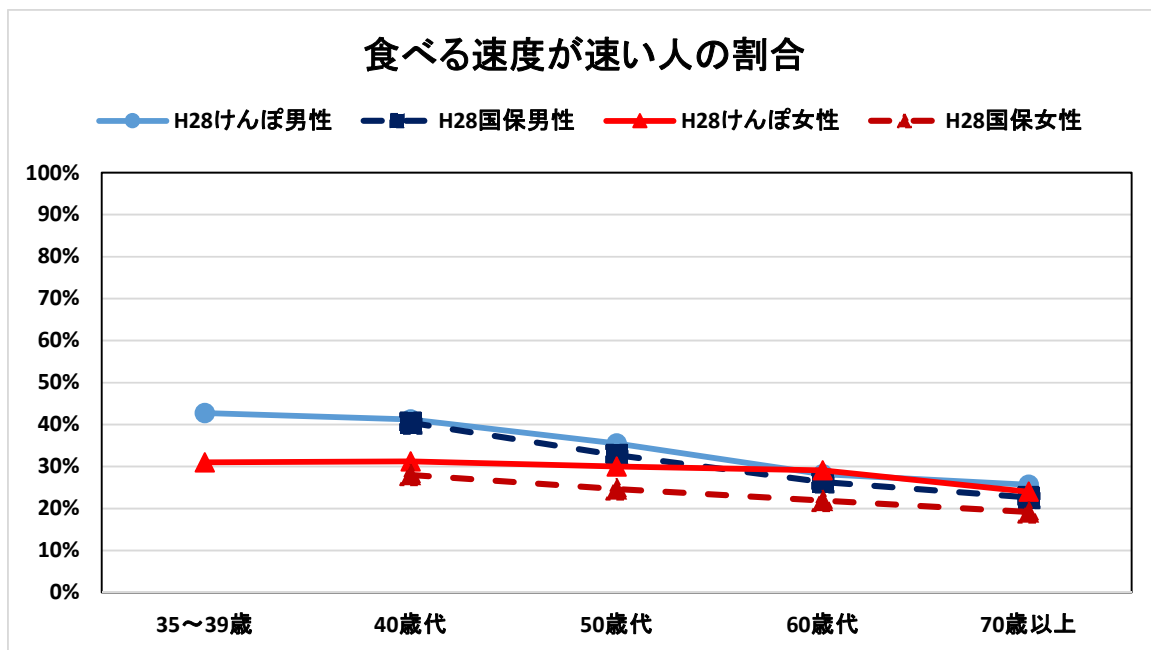
この1年間の体重の増減が3kg以上あった人の割合は、男女とも年齢が上がるにつれ減少していました。





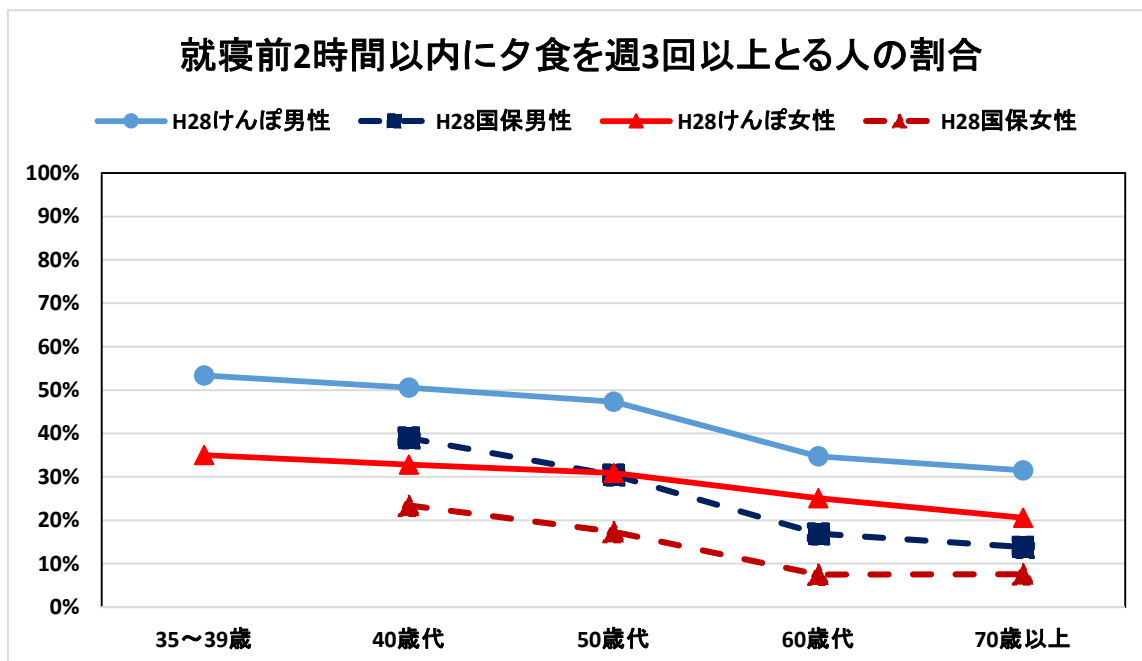
キ 人と比較して食べる速度が速い人

食べる速度が速い人の割合は、男女とも年齢が上がるにつれ減少していました。



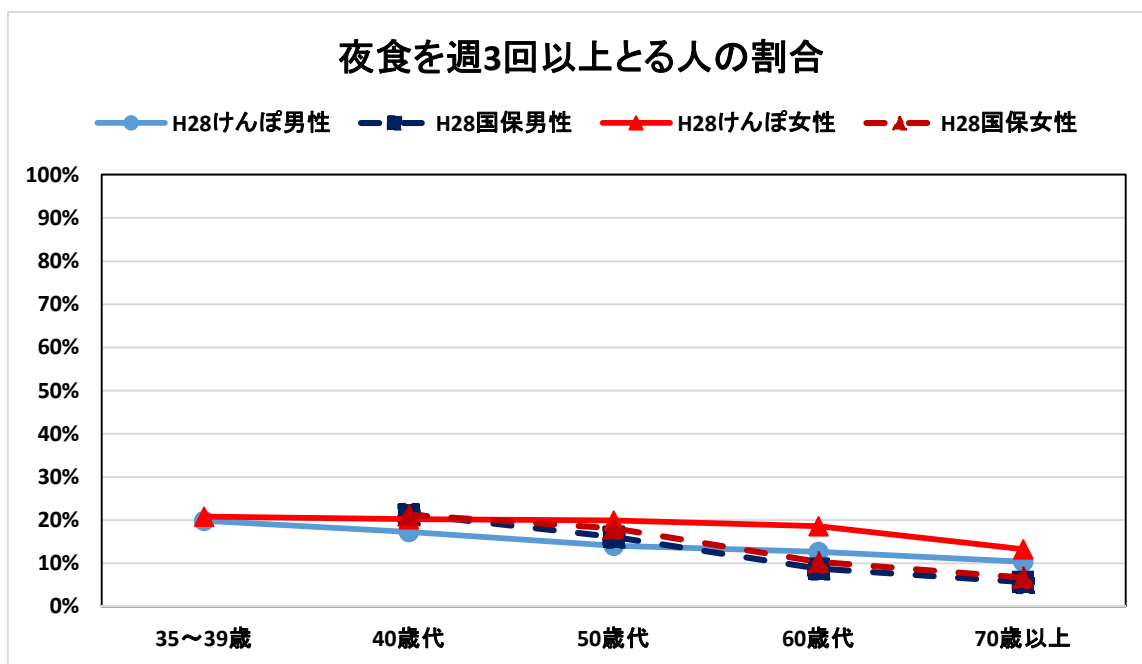
ク 就寝前2時間以内に夕食を週3回以上とることがある人

「就寝前2時間以内に夕食を週3回以上とる人」の割合は、男女とも年齢が上がるにつれ減少していました。



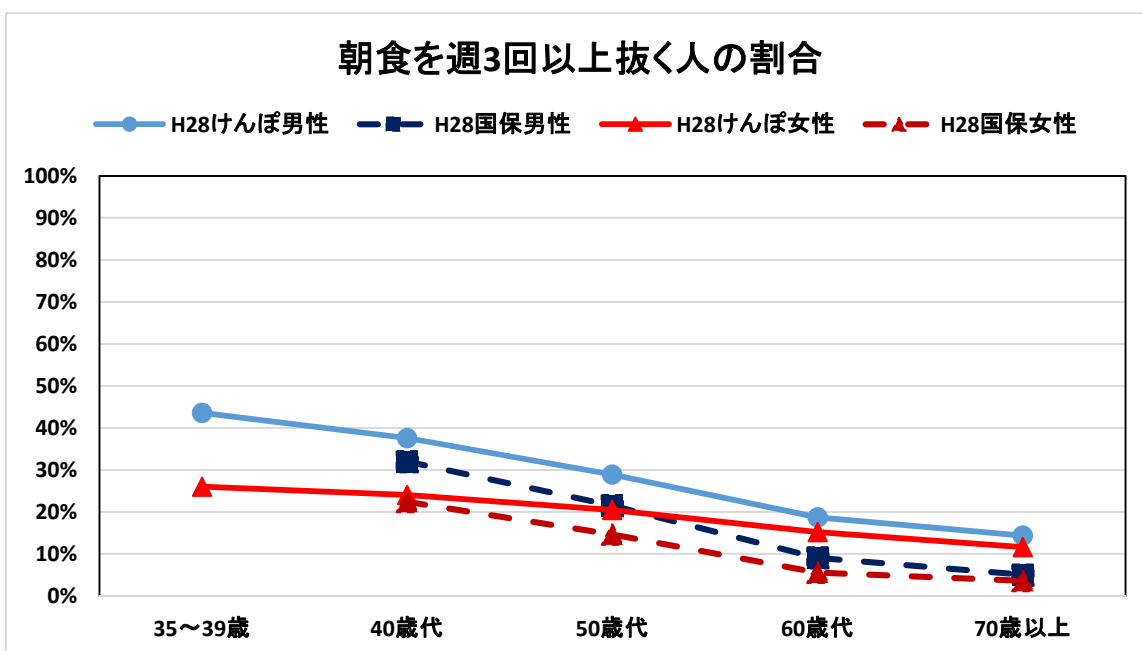
ケ 夜食を週に3回以上とる人

夜食を週に3回以上とる人の割合は、男女とも年齢が上がるにつれ減少していました。



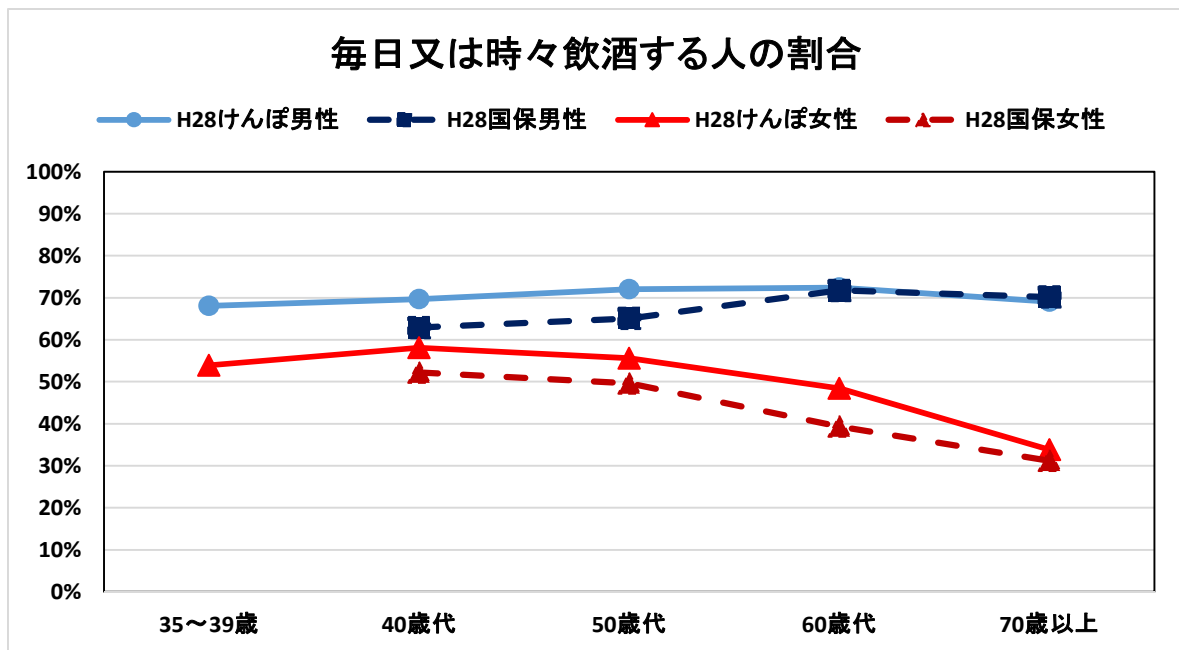
コ 朝食を抜くことが週3回以上ある人

朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合は、年齢が上がるにつれ減少していました。



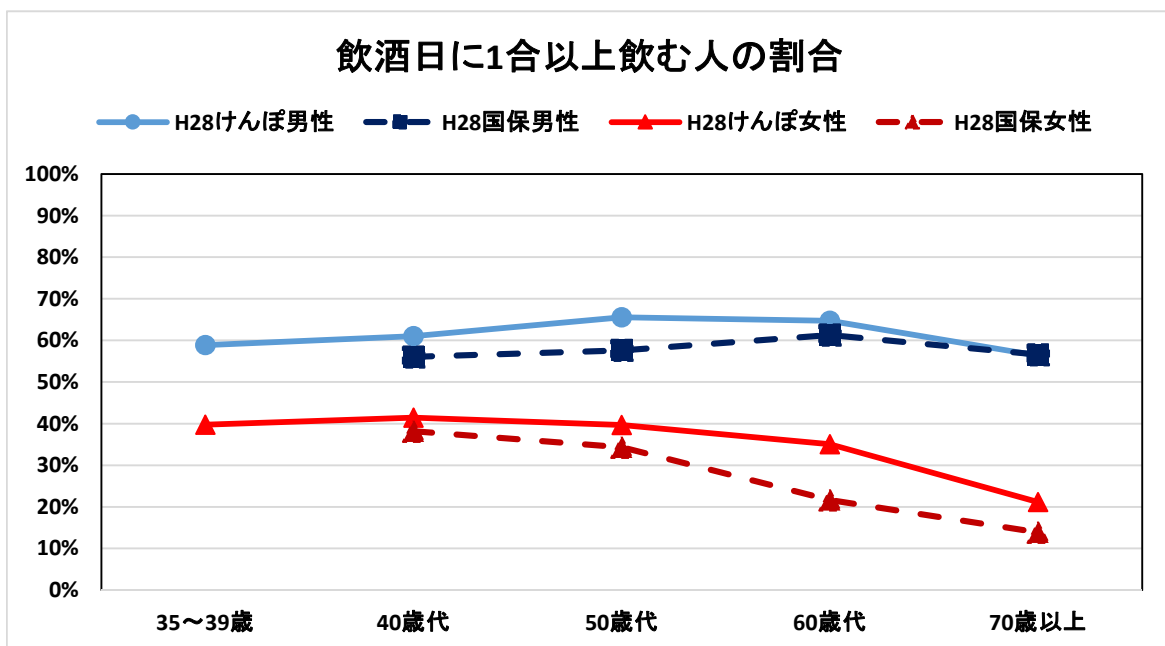
サ 毎日または時々飲酒する人

男性では、どの年代も概ね 70%の人が、「毎日飲む」又は「時々飲む」と回答していました。女性では、35 歳～50 歳代は 50～60%の人が「毎日飲む」又は「時々飲む」と回答していましたが、60 歳代以降年齢が上がるにつれ減少していました。



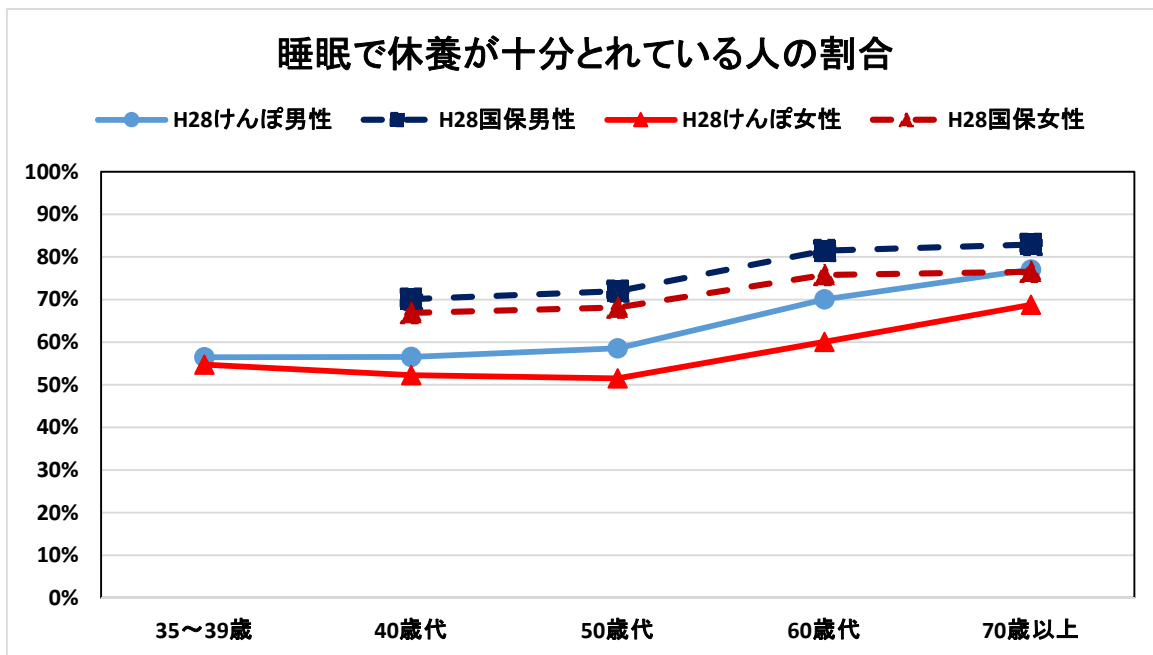
シ 飲酒日に1合以上飲酒する人

飲酒日に1合以上飲む人は、どの年代でも男性が女性を上回っていました。男性では 50 歳代にかけて増加し、60 歳代以降は減少していました。女性では 40 歳代をピークに、年代が上がるにつれて減少していました。



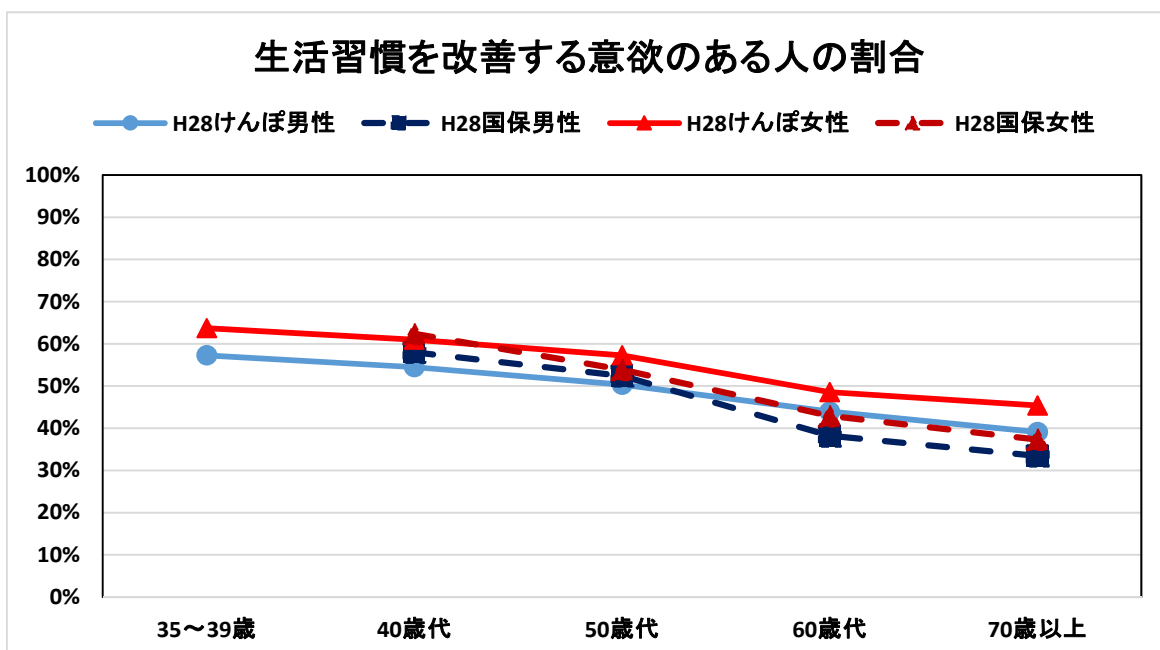
ス 睡眠で休養が十分とれている人

「睡眠で休養が十分とれている人」の割合は、男性では、年代が上がるにつれ増加していました。女性では、50 歳代にかけて減少した後、60 歳代、70 歳以上と増加していました。

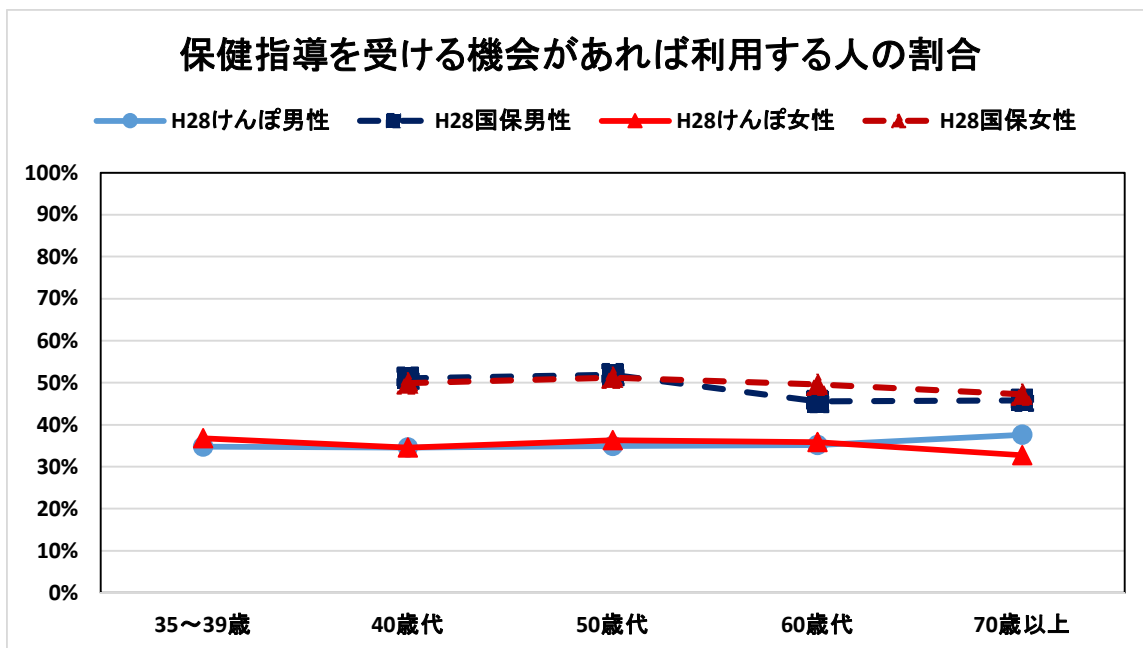


セ 運動や食生活等の生活習慣を改善する意欲のある人

改善の意思あり(6 か月以内・近いうち)と回答した人の割合は、男女とも年齢が上がるにつれて減少していました。



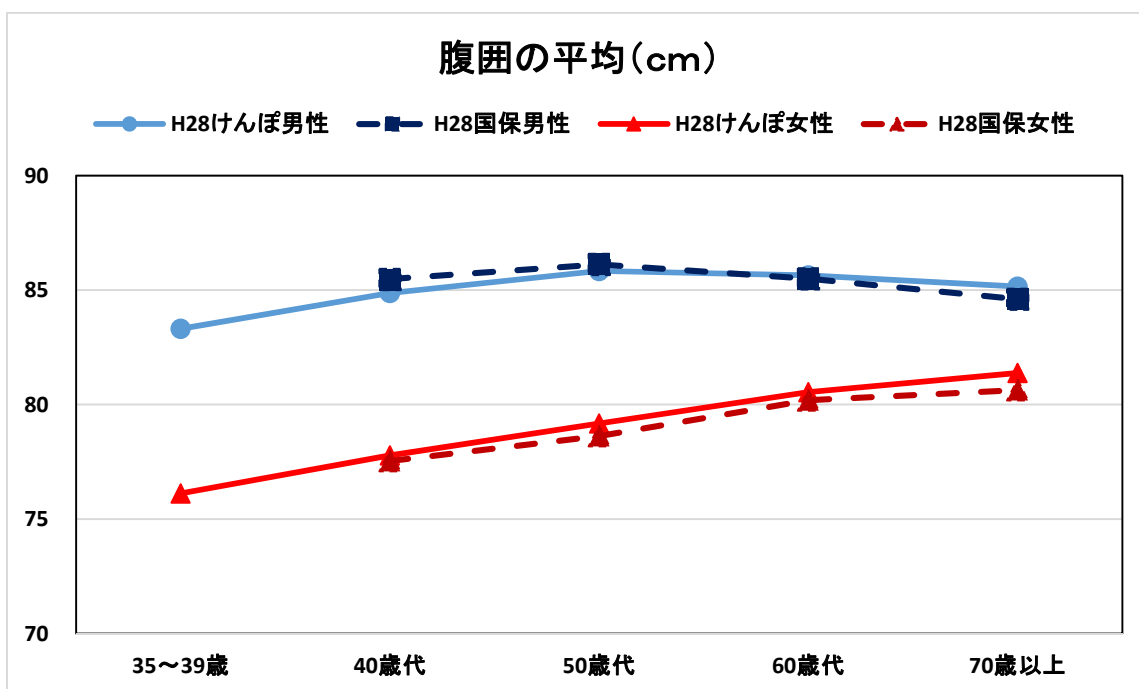
ソ 生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば利用する人  
保健指導を受ける機会があれば利用すると回答した人の割合は、男女ともどの年代も概ね 40%程度でした。



## 2. 検査項目の分析

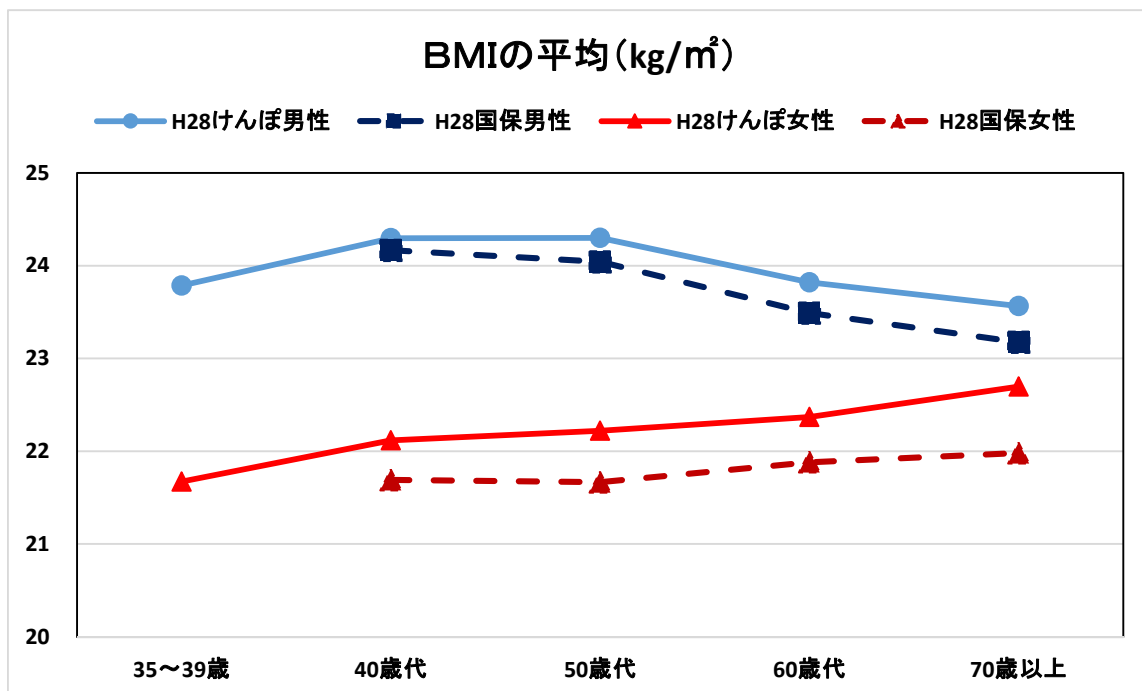
### (1) 腹囲

女性は年代が上がるにつれて増加していましたが、男性はほぼ横ばいでした。



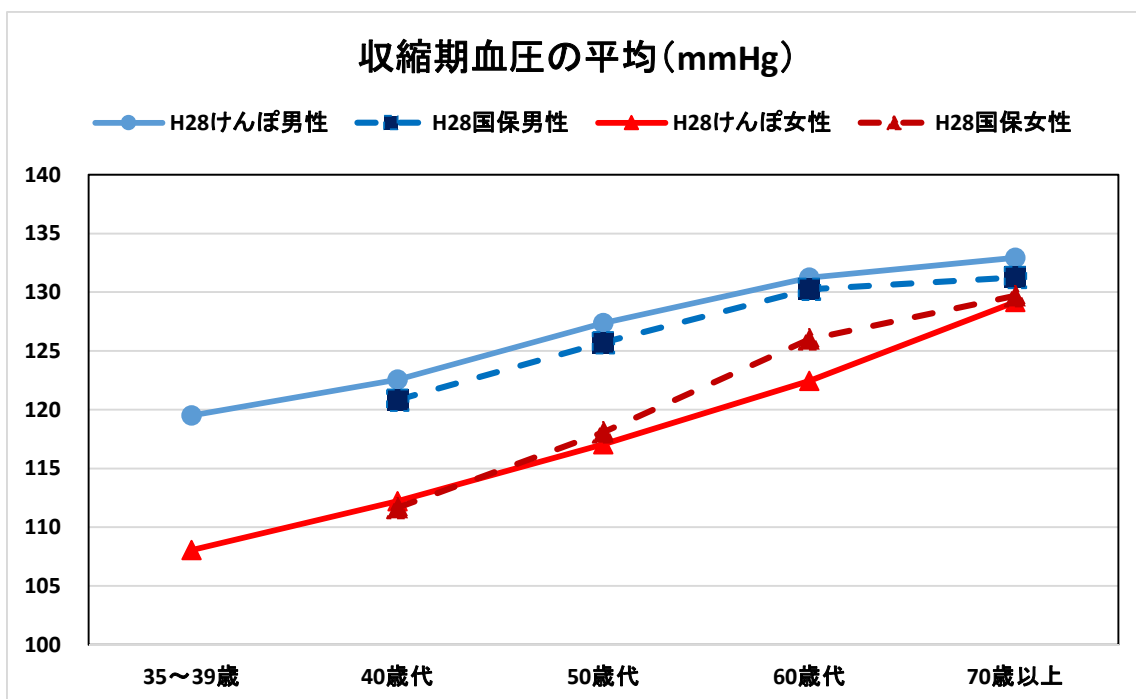
### (2) BMI

男性は50歳代をピークに年代が上がるにつれて減少していましたが、女性は年代が上がることも徐々に増加していました。



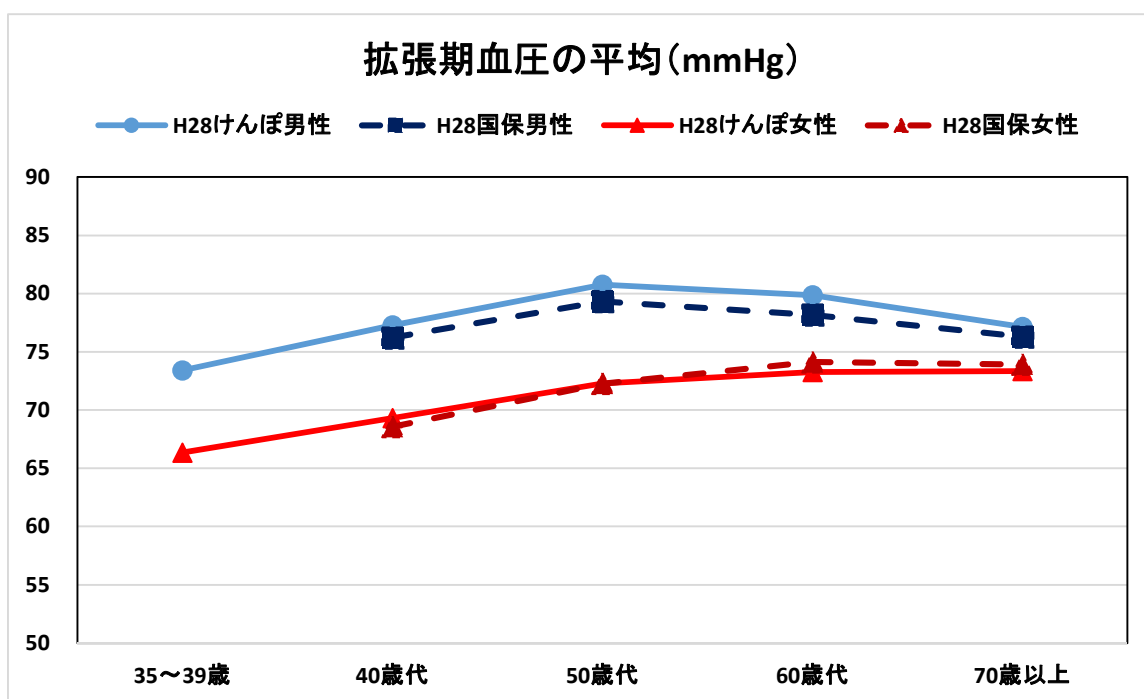
### (3) 収縮期血圧

男女とも年代が上がるにつれて高くなっていました。



### (4) 拡張期血圧

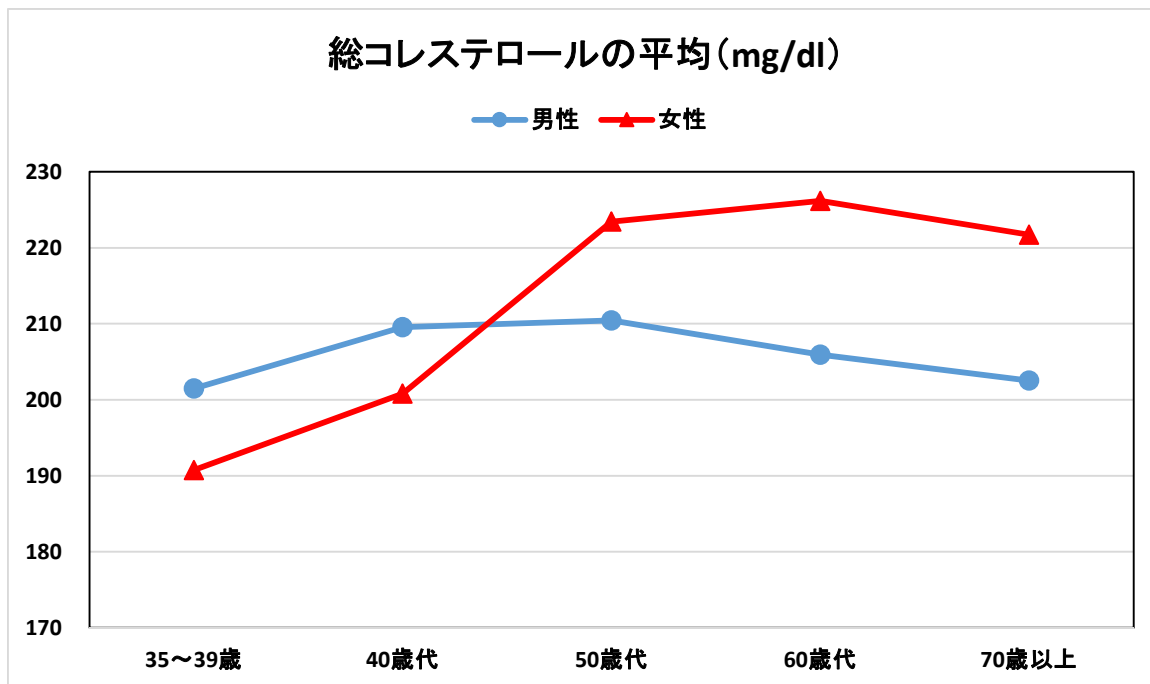
男性は50歳代までは年代が上がるにつれて高くなっていましたが、それ以降は低下していました。女性は年代が上がるにつれて高くなっていました。



(5) 総コレステロール(協会けんぽのみ)

40歳代までは、男性の方が女性より高くなっていましたが、女性は50歳代に著しく増加し、50歳代以降は男性よりも高くなっていました。

また、男性は年代による差はほとんど見られませんでした。

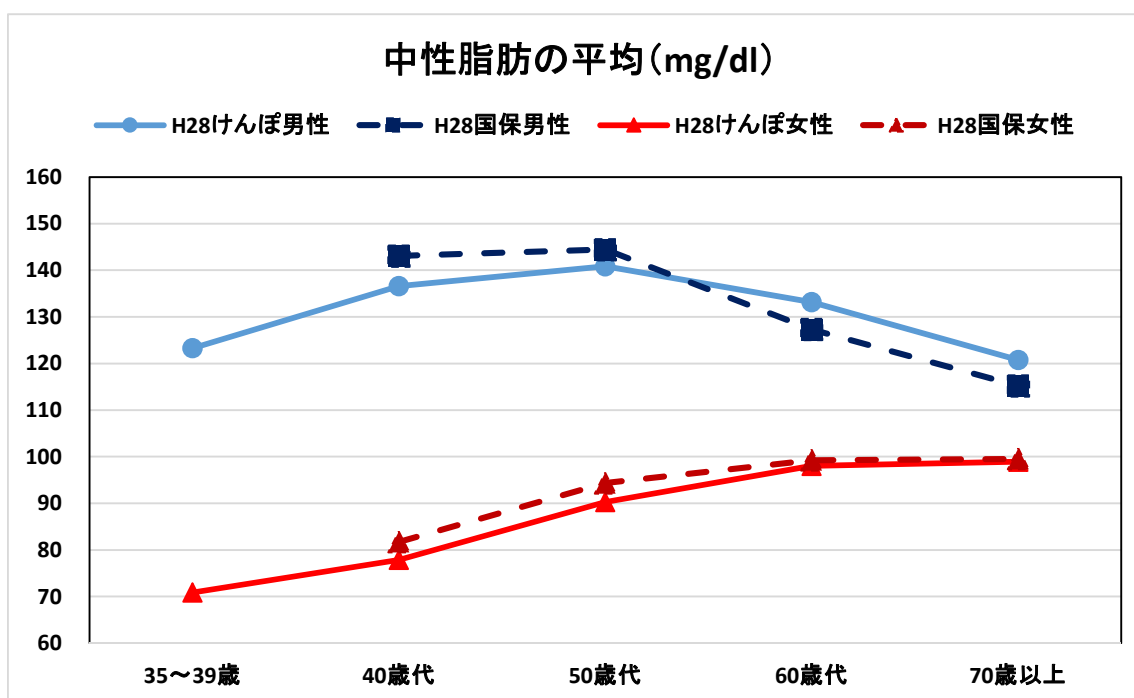


※国民健康保険では、総コレステロールは検査項目にありませんので、図示しておりません。

(6) 中性脂肪

男性は50歳代までは増加していましたが、60歳代以降は減少していました。

女性は年代が上がるにつれて徐々に増加していました。

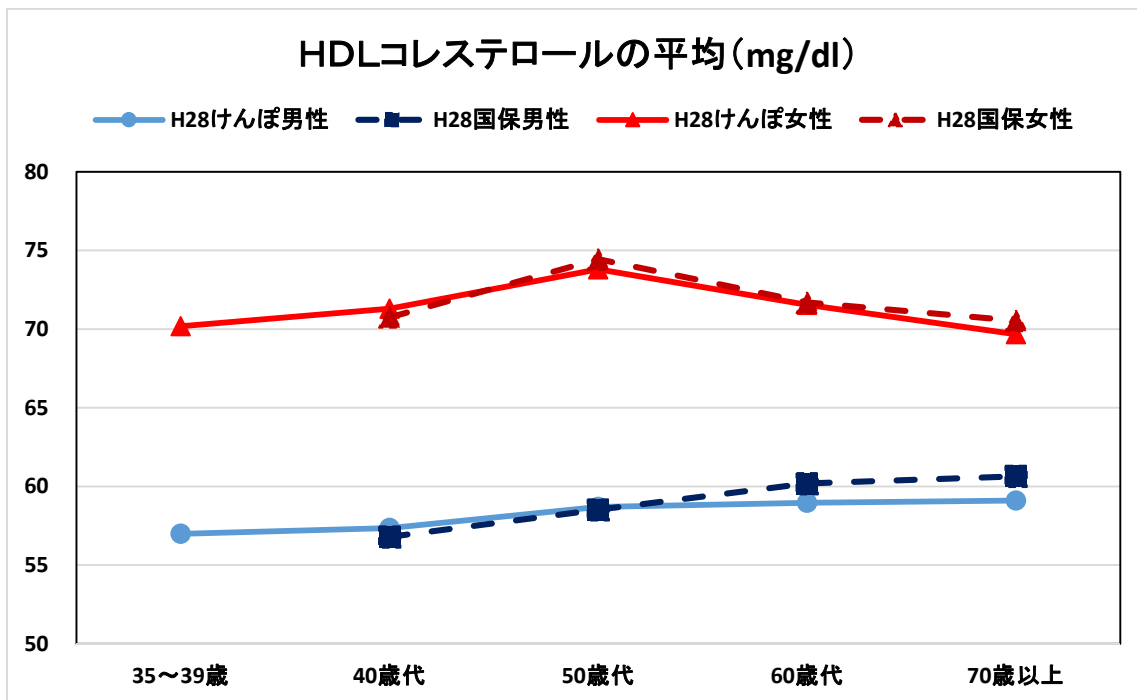




### (7)HDLコレステロール

男性は年代による差はほとんど見られませんでした。

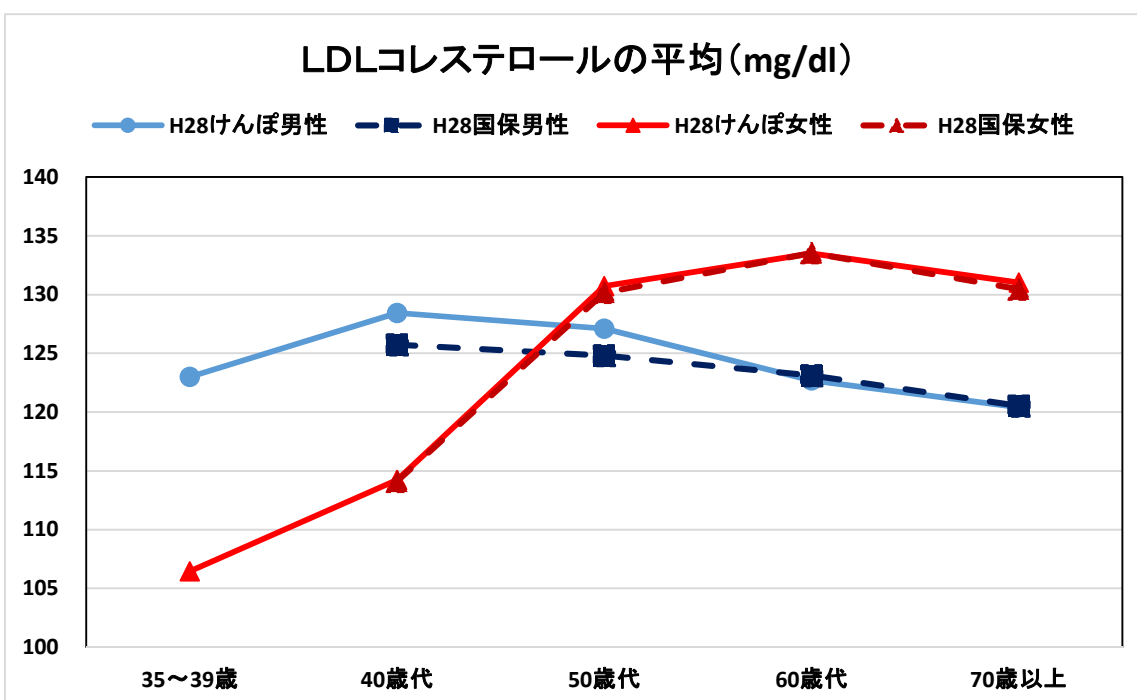
女性は 50 歳代まで増加し、60 歳代以降は減少していました。



### (8)LDLコレステロール

女性は 50 歳代に著しく増加し、60 歳代をピークにそれ以降は減少していました。

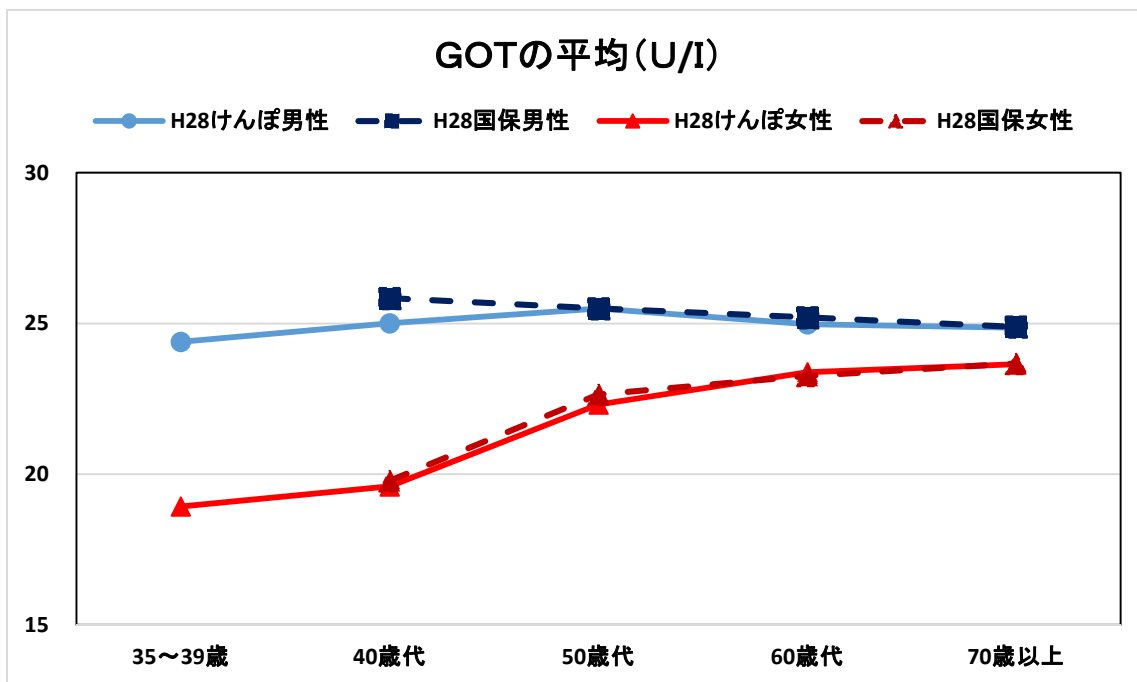
男性は 40 歳代をピークにそれ以降は減少していました。



### (9) GOT

女性は年代が上がるにつれて増加していました。

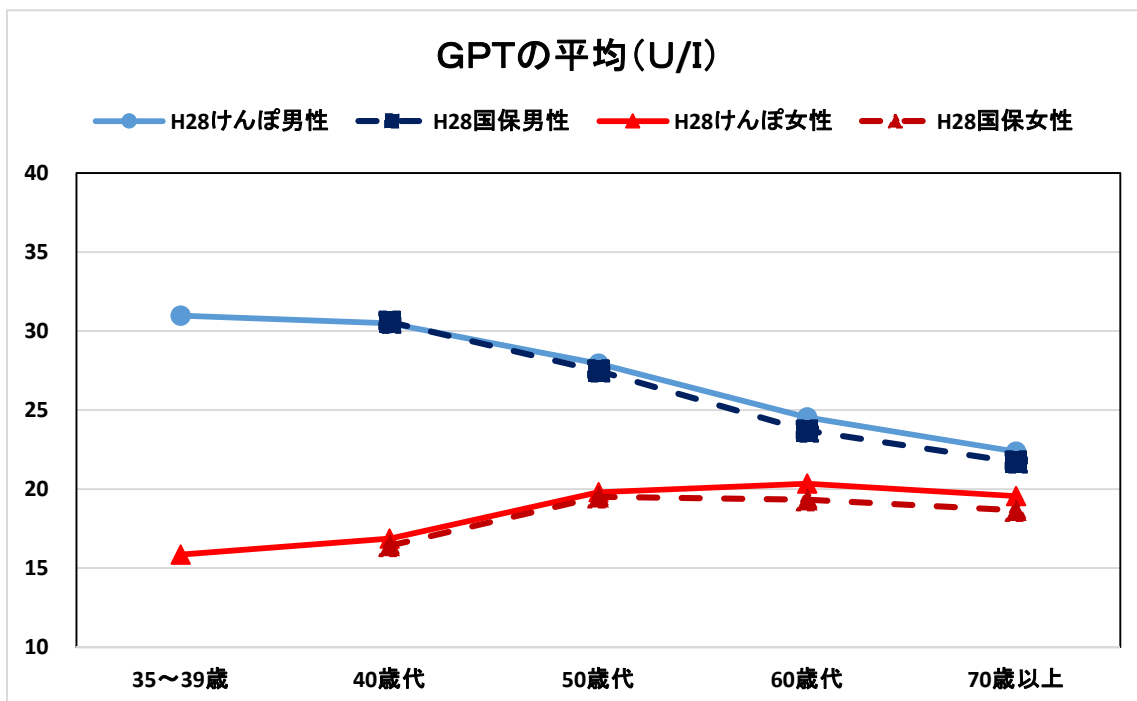
男性は年代による差はほとんど見られませんでした。



### (10) GPT

男性は年代が上がるにつれて低下していました。

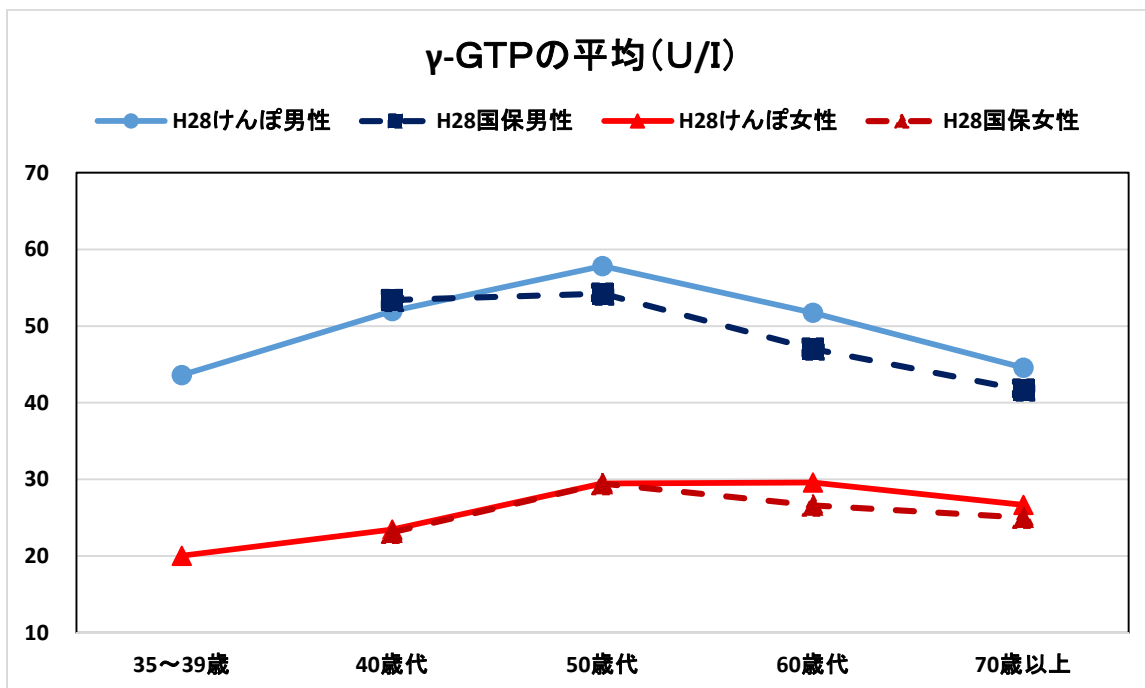
女性は 60 歳代まで年代が上がることも増加していましたが、以降は年代による差はほとんど見られませんでした。



(11)  $\gamma$ -GTP

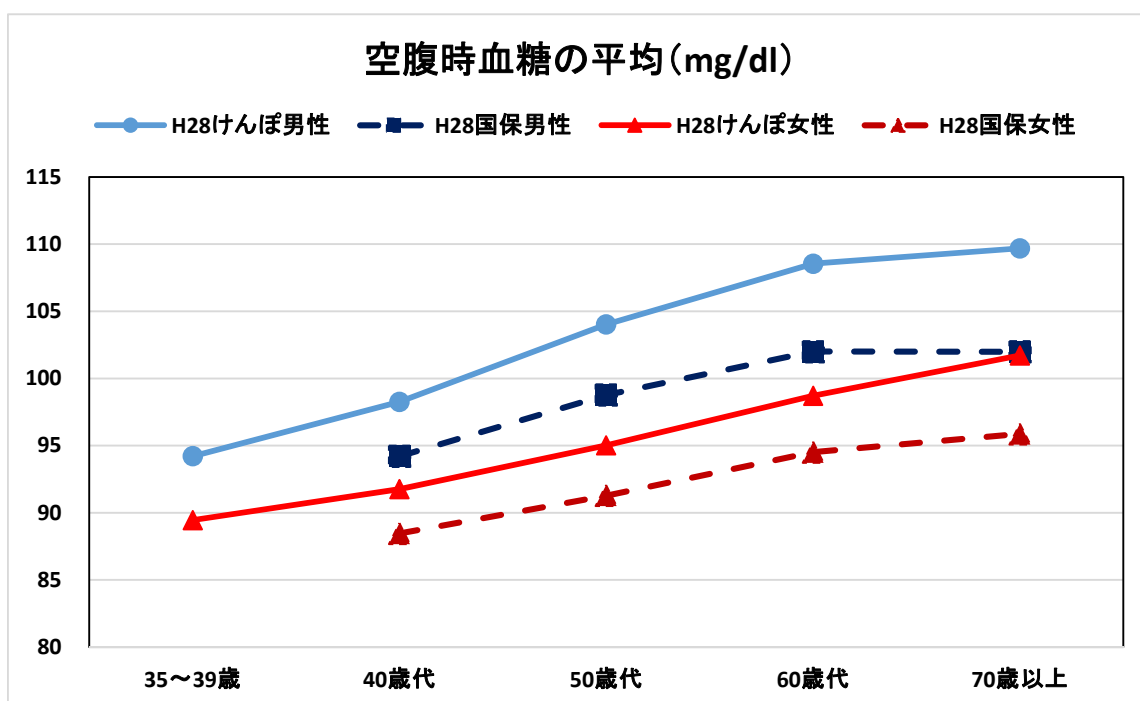
男性は50歳代まで増加していましたが、60歳代以降は減少していました。

女性は60歳代まで増加していましたが、以降は減少していました。



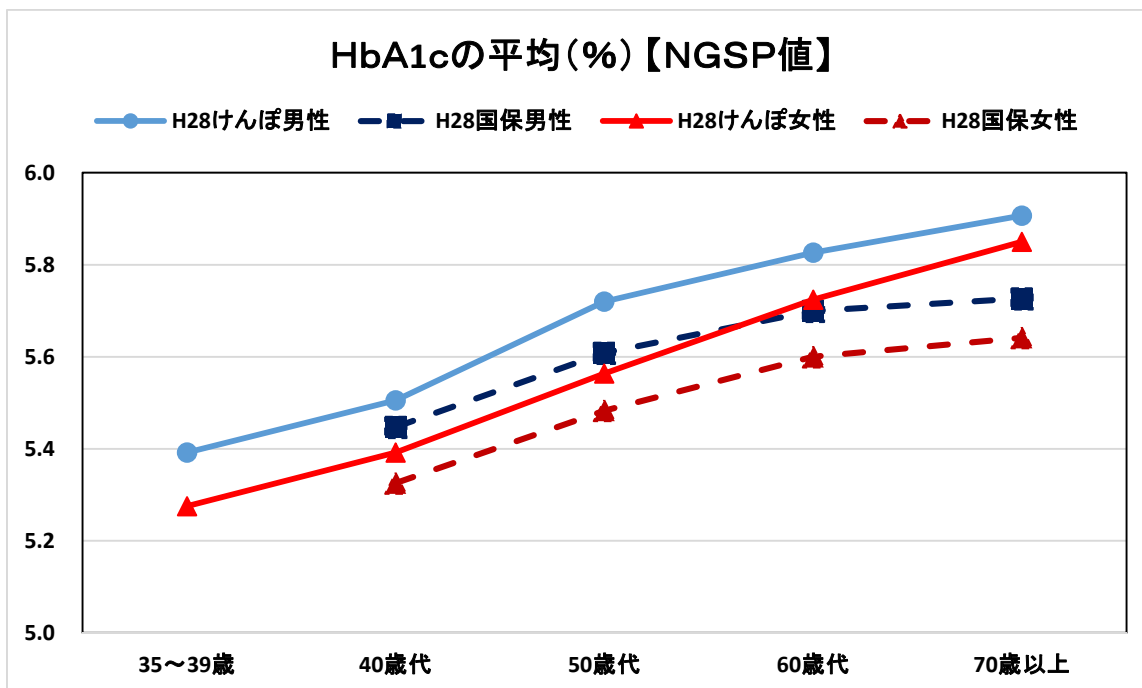
(12) 空腹時血糖

男女とも年代が上がるにつれて高くなっていました。



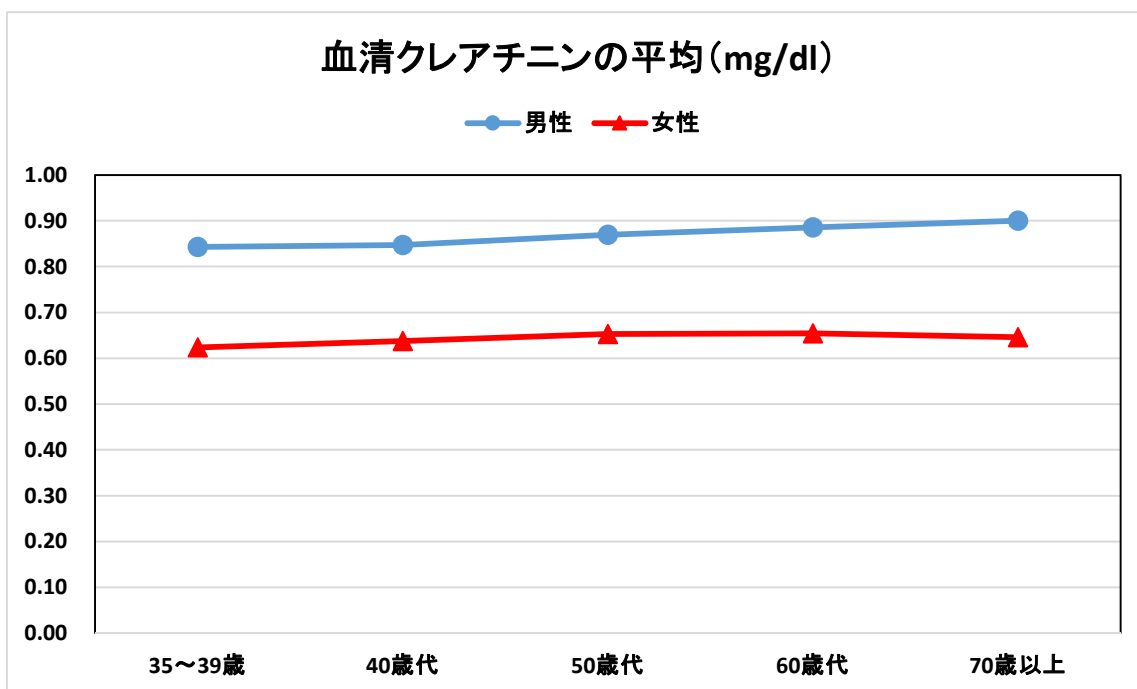
(13) HbA1c(NGSP 値)

男女とも年代が上がるにつれて高くなっていました。



(14) 血清クレアチニン(協会けんぽのみ)

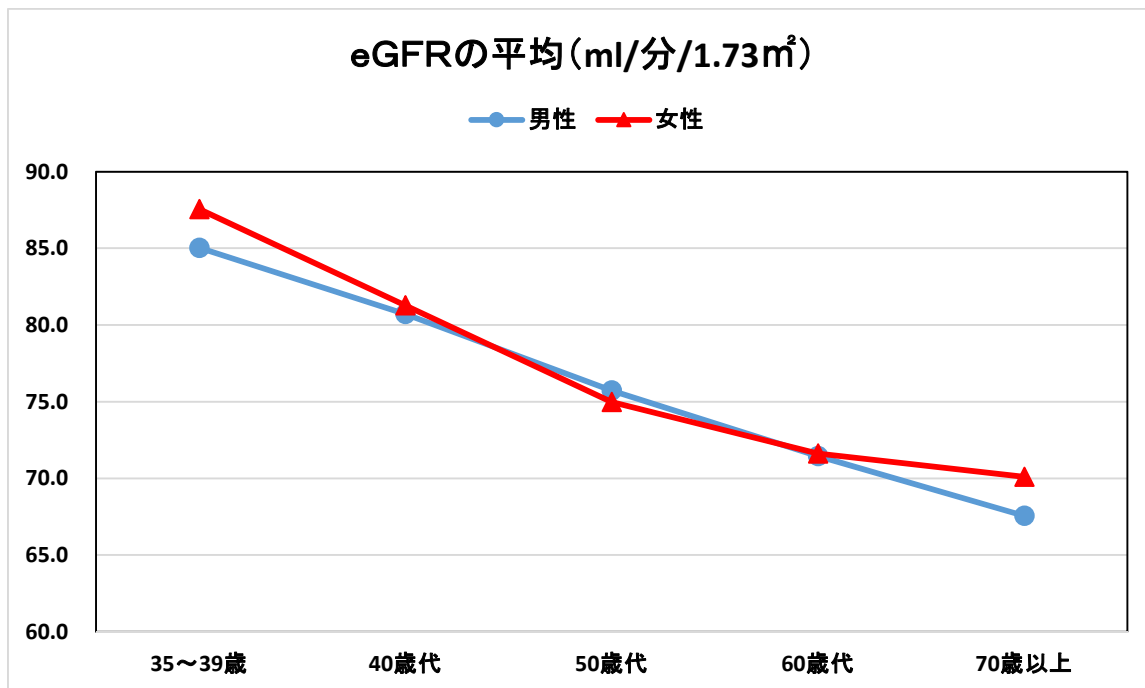
どの年代も男性の方が女性よりも高くなっていました。また、男女とも、年代による差はほとんど見られませんでした。



※国民健康保険の血清クレアチニンは、今回は分析対象としませませんでしたので、図示しておりません。

(15)eGFR(協会けんぽのみ)

男女とも年代が上がるにつれて減少していました。



※国民健康保険の eGFR は、今回は分析対象としませんでしたので、図示しておりません。